

事業内容と進捗状況は

積極的に取り組む



かめざわ のりあき 議員  
徳昭 議員

答 植田副町長

人材育成は、町の活性化、維持、発展、地方分権、主権時代の厳しい競争社会を生き抜くには必要不可欠と考えている。

「6次産業起業人材育成」は、6次産業化を担うための基礎知識、販売実習を考えているが、実施はまだ出来ていない。

「産業振興人材育成」は、黒潮印の商品開発についての基礎知識、商談会に向けての事前訓練等を考えているが、取り組みについては検討中。

「まるごと活用人材育成」は、情報基盤整備を活用して地域の情報を提供できる能力を持った児童の育成で、一部は取り組んでいるが、全体的には進んでいない。

「観光振興人材育成」は、町内の観光施設では十分な接

遇が出来ていないと考え、運営や接遇研修を行う計画。現在、高知県産業振興アドバイザー事業を活用し、佐賀の一番館や漁家民泊を対象に運営、接遇について研修を実施している。

「I・J・U者企業支援」はあまり進んでいない。

「新規就農者支援事業」は、現在後継者の育成が大事だという事で進めている。

過疎計画では過疎債のソフト事業でいろんな人材育成が可能になっており、それらを最大限活用して人材育成に努めていく。

広報については、事業を行う段階で事前に関係者に広報している。また情報基盤整備が進んでおり、告知端末等を活用して色々な形で周知を図っていく。

の農業に影響が出ると思うが、強い農業、もうかる農業を構築するためにも、この人材育成事業の推進がますます必要になってくると思うがどうか。

答 植田副町長

事業の統合化については、現在のところ考えてはいないが、連携をとりながら進めて

その他の質問

いくことは大事だと思っている。また、TTPの対応にも人材育成は大事なことで考えており、積極的に進めていく。

※大方南部地区の農業用水確保について

**問** まちづくりには色々の要素があると思うが、その中でも人材育成は大きなウエイトを占めていると思う。そこで「黒潮町過疎地域自立促進計画」に掲げている「6次産業起業人材育成」、「産業振興人材育成」、「まるごと活用人材育成」、「観光振興人材育成」、「I・J・U者起業支援」、「新規就農者支援事業」の内容とその進捗状況を問う。併せて町民にどのように広報しているのかも問う。

問 事業内容がかみ合っているものについては、統合してより質の高い事業展開をする考えはないか。また、TTP

が締結された場合、基幹産業



南部地区花き団地を望む